

新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

令和2年11月25日
伊丹市長 藤原 保幸

国は大都市を中心に新型コロナウイルス感染者が増加しているとして「Go Toキャンペーン」の見直しを進めています。

11月24日には、兵庫県におきましても、新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、新たな外出自粛要請を行うとの方針を発出しました。

伊丹市におきましても、県の方針に合わせて、「新型コロナウイルス感染症に係る伊丹市対応方針」を改定しました。市民の皆さまにおかれましては、以下の事項につきご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 1 東京・大阪・北海道など、感染拡大地域への不要不急の往来を自粛すること
- 2 高齢者、基礎疾患のある方は、不要不急の外出を自粛すること
- 3 毎日の検温実施など、ご自身の健康管理に留意し、発熱などの症状のある場合には、通勤・通学を含め外出を控えるとともに、電話で医師等と相談すること

また引き続き、感染リスクが高まるとされる次の「5つの場面」にご注意願います。

- 1 飲酒を伴う懇親会等
- 2 大人数や長時間におよぶ飲食
- 3 マスクなしでの会話
- 4 狭い空間での共同生活
- 5 休憩室、喫煙所、更衣室等

バスや電車の車内等でのマスクの着用、そしてこまめな手洗い等「新しい生活様式」に取り組んで下さい。特にこれからの季節に、暖房を使用する場合には換気や保湿を行うと共に、3密（密閉・密集・密接）の回避をお願いいたします。

また、改めてではございますが、医療機関や社会福祉施設においても感染者が発生しております。皆様におかれましては、いわれなき風評被害・差別を防止するとともに、正しい情報により冷静な対処をお願いします。